



2025年11月12日掲載

日経平均を引っ張るAI・半導体関連の行方

日経平均株価の5万円台への上昇を背景に、いつまで株高が続くのか、という質問が増えていきます。

この答えは、高市トレードよりも、半導体関連銘柄の上昇の継続いかにかかっています。これまでの日経平均の上昇の多くをAI(人工知能)・半導体関連が担ってきたからです。

これまでの上昇はバブルではなさそうです。世界の半導体売上の成長は9月も加速し、特に米国やアジアでの売上成長が顕著でした。この加速は、パソコンやスマホのような伝統的な半導体のサイクルの回復に加え、AIに関わるデータセンターなどの需要の急成長が背景とみられます。

検索アプリなどを通じて、AIは我々の生活の中にいつのまにかかなり忍び込んでおり、さらに仕事などで利用する人もどんどん増えていて、需要増がまだ終わらないという感触があります。伝統的なサイクルを超えた成長は、まさに半導体成長トレンドの戻らない上へのシフトになるとみています。

経営リスクとして、AIへの過剰投資が心配されていますが、AIエージェントへの期待や、フィジカルAIの夢に対応しておかないと、過小投資になるリスクもあります。

市場リスクとして、半導体売上の増加の加速で関連銘柄の株価上昇はバブルとは言えませんが、まだ見えていない夢への投資部分については、市場心理で大きく動いてしまうこともあるでしょう。また少数銘柄に人気が集まりやすく、経営者のひとりが過剰投資などで失敗すると市場全体に影響しやすいリスクがあります。

長期的に株価上昇は続くが、目先のブレはありと予想しています。

(アモーヴァ・アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト 神山 直樹)

※2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社はアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更しました。

《本資料は執筆者の見解を記したものであり、当社としての見通しとは必ずしも一致しません。本資料のデータは各種の情報源から入手したものです。正確性、完全性を全面的に保証するものではありません。また、作成時点で入手可能なデータに基づき経済・金融情報を提供するものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。》